

平成28年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	被災都市ガス導管移設復旧支援事業費補助金			担当部局庁	復興庁		作成責任者			
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成36年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 後藤 浩平			
会計区分	東日本大震災復興特別会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年8月11日、東日本大震災復興対策本部決定)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都市ガス導管の再敷設により、被災地域のガスの安定供給を図り、当該嵩上げ地域における住民の生活復興や産業復興を促進する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災で被害を受けた地方自治体の復興計画に基づき行われる道路の嵩上げ等に伴うガス導管の再敷設を行う被災都市ガス事業者に対して、ガス導管の再敷設に要する費用の一部を支援し、被災地域のガスの安定供給を図る。(補助率:2/3、1/2)									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	-	457	375	311	150			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	334	220				
		翌年度へ繰越し	-	▲ 334	▲ 220	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		0	123	489	531	150			
	執行額		-	0	287					
執行率 (%)		-	0%	59%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 36 年度
	被災地域の都市ガス供給の復旧(平成36年度までにガス供給需要家数を平成25年度より約5,000件復旧する)	補助対象事業者のガス供給復旧需要家数	成果実績	件	-	-	1,210	-	-	
			目標値	件	-	5,000	5,000	-	5,000	
			達成度	%	-	-	24.2	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	支援対象事業者	活動実績	者	-	2	2	-			
		当初見込み	者	-	3	3	3			
単位当たり コスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	執行額/支援対象事業者数	単位当たり コスト	千円/者	-	-	144	-			
		計算式	千円/者	-	-	287/2	-			
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	天然ガス安定供給対策事業費補助金	311	150	対象事業の完了等に伴う減額						
	計	311	150							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	IV. 中小・地域							
	施策	5. 福島・震災復興							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	本事業においては、平成36年度までに被災地域のガス供給需要家数を約5,000件復旧することを成果としており、この達成により被災地域のガスの安定供給を図り、当該高上げ地域における住民の生活復興や産業復興を促進するものである。								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
目標値		-	-	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	被災地域のガス導管の復旧を促進し、ガスの安定供給を図ることは国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は東日本大震災からの復興の基本方針:5(1)①(ii)に位置づけられている事業であり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は東日本大震災からの復興の基本方針:5(1)①(ii)に位置づけられている事業であり、被災地域のガス導管の復旧を促進し、ガスの安定供給を図るものであることから優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	対象事業者は被災地の復興計画に基づいた道路の嵩上げに伴うガス導管の再敷設等を行う事業者に限られている。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	補助率を2/3以内に設定し、受益者負担は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	本事業においては、事業目的に即し、真に必要な者に限定すべき補助対象経費を、設計費、再敷設費(仮設工事を含む配管工事費、土木工事に、設備・材料購入費等)に限定している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	中間段階での支出がないため。
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本事業においては、事業目的に即し、真に必要な者に限定すべき補助対象経費を、設計費、再敷設費(仮設工事を含む配管工事費、土木工事に、設備・材料購入費等)に限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	本事業は復興計画に伴う道路の嵩上げ事業等に基づき行われており、それら事業の計画変更や遅れが生じているため。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	成果を的確に把握し、効率的、効果的な予算執行に努めている。	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△	本事業は復興計画に伴う道路の嵩上げ事業等に基づき行われており、それら事業に計画変更や遅れが生じており、本事業においても遅れが生じている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	利子補給の後年度負担事業であり、他の方法はない。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	本事業は復興計画に伴う道路の嵩上げ事業等に基づき行われており、それら事業に計画変更や遅れが生じており、本事業においても遅れが生じている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	本事業で整備されたガス導管により、被災地域における天然ガスの安定供給に資している。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-		
点検・改善結果	点検結果	本事業は東日本大震災からの復興の基本方針:5(1)㉠(ii)に位置づけられている事業であり、被災地の復興計画を着実に進めるためには、本事業により、ガス導管の再敷設を着実に実施する事が必要である。				
	改善の方向性	本事業は、一体として行っている被災地の復興計画に基づく道路の嵩上げ工事等が大幅に遅れているため、当初の計画通りの進捗にはなっていないが、計画の見直し等、補助事業者と調整のうえ、適切かつ効率的な執行に努める。				
<b>外部有識者の所見</b>						
点検対象外						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
現状通り	平成27年度の執行率が低いことを踏まえ、適切な予算規模について精査しつつ、予算の効率的な執行に努めるべきである。					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
現状通り	道路嵩上げ工事など関連事業の執行状況を勘案し、適切な予算規模について精査しつつ、予算を効率的な執行に努める。					
<b>備考</b>						
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	26新-027	平成26年度	新26-016	平成27年度	0189	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁  
334百万円(26fyからの繰越し)

〔経済産業省への予算の移替え〕



経済産業省  
287百万円

〔道路の嵩上げ等に伴うガス導管の再敷設事業の実施する被災都市ガス事業者に対して補助金交付等の手続きを東北経済産業局に委任するための手続を実施。〕



【事務委任】

東北経済産業局  
287百万円

〔補助金交付等手続の実施〕



【公募・補助】

A.気仙沼市  
164百万円

〔道路の嵩上げ等に伴うガス導管の再敷設事業の実施〕

【公募・補助】

B.石巻ガス株式会社  
123百万円

〔道路の嵩上げ等に伴うガス導管の再敷設事業の実施〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・用途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.気仙沼市			B.石巻ガス株式会社			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	事業費	道路の嵩上げ等に伴うガス導管の再敷設事業の実施	164	事業費	道路の嵩上げ等に伴うガス導管の再敷設事業の実施	123	
	計		164	計		123	
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						<input type="checkbox"/> チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	気仙沼市	8000020042056	道路の嵩上げに伴うガス導管の再敷設事業の実施	164	-	2	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	石巻ガス株式会社	7370301000110	道路の嵩上げ等に伴うガス導管の再敷設事業の実施	123	-	2	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								<input type="checkbox"/> チェック